

入野駅前開発の進捗状況は

平成27年度末に整備完了



やまさき 山崎 まさお 議員

答 武政 まちづくり課長

平成25年度には用地協議を始め、国道56号大方改良事業と併せて商業地の集積や入野駅前周辺の整備を進めていく。関係者数は20名だ。

問 黒潮町の入野駅前開発計画等の進捗状況を聞く。

まず、駅前開発の目的等について、住民説明は十分にできているか。現状規模と関係者数と進ちよく状況を聞く。

次に、事業で移転を迫られる関係者の心配は把握しているのか。補償や移転計画の今後の予定はいつになるのか。

また、現庁舎の取り壊しや庁舎の移転計画は、バイパスの兼ね合いでどのように進めるのか。更に、それぞれの完成予定はいつか。

平成25年度に実施設計図面等を作成後、説明の場を設けたい。駅前広場の整備計画による家屋の移転や借家の方々への不安も承知している。説明会の開催時期を平成25年7月頃と考えている。国道56号大方改良の補償と移転の協議は、昨年10月から開始され、駅前広場は今年4月から現地調査を開始するので、用地、家屋の補償協議は平成26年の1月頃からとなる。駅前広場整備完了予定は平成27年度末で、関係者の移転時期は平成28年度になると考える。庁舎移転は平成29年度末、国道56号大

方改良はそれ以降となる。

漁業振興

漁業活性化の

取組みは

漁協と協議し進める

問 漁業の活性化について聞く。町は漁業者や漁協とどのように取り組み、どのように活性化を図るのか。

答 浜田 海洋森林課長

現状を把握するため、漁協と定期的な協議の場を設けている。事業の要望は有利な補助事業で漁協の負担が少ないことが大切と考えている。漁協と関係者に十分調整していただき、優先順位を付けて事業導入を図っていく必要がある。漁港や水産施設の整備については、漁協と協議しながら進めていくようにしている。

佐賀漁協は平成25年度から28年度にかけて整備予定。整備内容は活餌の蓄養水面の浚渫、臨港道路、耐震岸壁で延長



佐賀漁港防波堤かさ上げ工事 (H25年3月末現在)

100m、防波堤の改良が20m、護岸の改良が180m。平成24年度から28年度にかけて港内の機能保全工事全般を実施。田野浦漁港では平成25年度から29年度に、この機能保全工事を行う。伊田漁港は平成25年度中に同事業の導入を検討する。町管理の入野漁協は本年度より実施計画を策定し、次年度以降29年度までに保全工事全般を施行する予定

その他の質問

※ 町民への対応について

定。鈴、灘漁港も平成29年度を目標に同事業を実施か検討中。水産施設は平成27年度より佐賀漁港荷捌き所に、衛生管理型市場の拡張工事を計画。更に平成28年度より31年度にかけて、佐賀、入野、伊田、上川口、田野浦港で給油タンクの耐震化を計画している。